

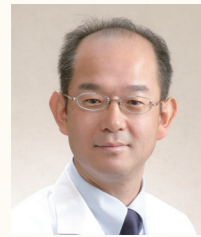
2022年 年頭のごあいさつ



保健事業部長
福田 崇典

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと存じます。2021年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収まらず、施設内・巡回検診(健診)においては、職員一同、皆様に安心して健康診断を受診いただけるよう感染予防対策に取り組んで参りました。また、職域・地域の新型コロナウイルスワクチン接種の支援をすることができました。このような中、2021年4月、未発症者に対して、日本初となるチャットボットによる遺伝性のがんのリスクを診断する取り組みを開始しました。これにより、個別化がん検診プランの提供が

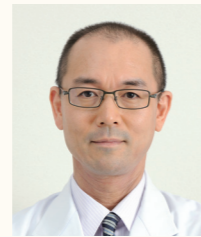
可能となりました。2022年は、一人ひとりのリスク評価を行い、適切な健康診断を実施して、総合的に心身の状態を改善につなげるしくみ作りに取り組みたいと考えます。また、当事業部の財産のひとつである健康診断のデータを活用し、利用者様のライフコースにわたり、健康状態を管理できる健康サービスの提供にも着手したいと思っております。今後も、皆様の健康寿命の延伸を支援するため、疾病予防・重症化予防に向け、たゆまぬ努力と研鑽を続けて参ります。これまで同様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



聖隷健康診断センター
所長 武藤 繁貴

明けましておめでとうございます。2021年は、何と言っても新型コロナウイルスワクチン接種に力を注いだ一年でした。春から始まった医療従事者や高齢者への優先接種にいち早く取り組み、夏以降は中高生といった若年層にまで対象を広げていきました。さらに、地域の集団接種や職域接種にも応援を出すなど、職員一丸となって国や自治体の感染症予防政策に協力いたしました。その成果もあってか、この原稿の執筆時点(2021年10月末)の新規感染者の発生は激減しており、地域の公衆衛生に多少なりとも貢献できたのではないかと考えております。

今後も本業である健康診断と事後措置による生活習慣病・がん予防はもちろん、ワクチン接種を通じた感染症の予防など疾病予防全般に貢献できるよう努力して参りたいと考えております。



聖隷予防検診センター
所長 森 厚嘉

明けましておめでとうございます。2021年も2020年同様新型コロナウイルスの感染対策にご協力いただき誠にありがとうございました。お蔭で2021年は大きな変更もなく検診業務を継続実施することができました。2022年も引き続き感染予防に努めて参りますので何卒ご協力の程お願い申し上げます。また、保健事業部の健診システムが2022年4月1日より新しくなります。これにより当センターの各種検診の様式にも一部変更が生じるため、利用者の皆様は戸惑いを感じられる点もあるかと思いますが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。このシステム変更を機に更に質の高い、よりご満足いただける検診をご提供すべく職員一同努める所存です。本年もどうぞ聖隷予防検診センターを宜しく願い申し上げます。

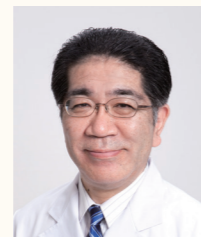


聖隷健康サポートセンター
Shizuoka
所長 鈴木 美香

謹んで新年のご挨拶申し上げます。2021年も新型コロナウイルスの感染拡大防止に追われる一年となりましたが、多くの皆さまに聖隷健康サポートセンター Shizuoka・聖隷静岡健診クリニック・巡回健診をご利用いただき、心より感謝申し上げます。2022年は、新たな健診として「プレコンセプションケア健診」を1月より開始します。プレコンセプションケア健診は、すべての妊娠可能年齢の女性を対象に「将来のために、自分のからだに向き合い、健康な生活習慣を身につけていただくこと」を目的とした健診です。

2022年も安心して受診いただけるよう感染予防対策に努め、引き続き特定保健指導の実施率向上やフォローアップに力を注ぐとともに、利用者様のニーズを考慮しながら、静岡県中部地域における健康づくりに貢献できるよう職員一同一丸となって尽力いたします。

本年もご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



地域・企業健診センター
所長 鳥羽山 滋生

明けましておめでとうございます。2020年に続き、2021年も、新型コロナウイルス感染症により、巡回健診も影響を受けましたが、市町村および事業所の協力もあり、しっかりと感染対策を行い、安全に健診を行うことができました。2022年も安全・安心な巡回健診を進めていく所存です。また、保健事業部全体で新型コロナウイルスワクチン接種に協力できたことは、地域に貢献する方針にも合致できました。2021年には、地域・企業健診センターのモットー「あしたの元気をおつだい」を策定しました。このモットーの下、職員全員が各専門分野を最大限発揮し、いつ誰が対応しても利用者様に満足・安心を提供できるようにしていきたいと考えております。本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

保健事業部 グループ通信

職員が東京パラリンピックに出場！ シッティングバレーボール日本代表 中野琢也

事業管理部 経営管理室 秘書広報学術課 渡邊 真由

8月24日より開催された東京パラリンピック2020に、精度管理センター 統計情報課 職員の中野琢也が、シッティングバレーボール日本代表として出場しました。

パラリンピック初出場の感想を聞くと、「実際にコートに立ったとき、今までの苦労や自分がこの場で試合をできる喜びなどが込み上げて、自然と涙がこぼれました。大会成績は、悔しい結果でしたが、試合を重ねるごとに今まで練習してきた力が



発揮できていると感じ、よい経験になりました。」と話してくれました。

次の目標については「今回の東京パラリンピックが、パラスポーツを見る・知るきっかけとなり、今まで以上にパラスポーツへの関心が高まっていると感じます。パラスポーツを体験する機会を増やし、魅力を発信していく活動をしながら、いつも支えてくれている家族や応援してくれている人たちに、選手としてプレーしている姿を見せたいです。次は2026年に愛知県で開催されるアジアパラ競技大会への出場を目標に頑張ります!」と、意気込みを語ってくれました。

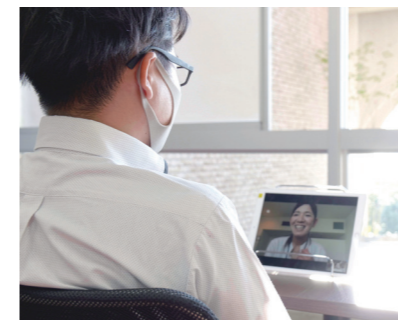
夢の大舞台で活躍する仲間の姿に勇気づけられました。



▲シッティングバレーボール日本代表メンバー(前列右から3番目が中野琢也)

ウエルネスワーケーションの取組み

事業管理部 総合企画室 室長 兼 聖隷予防検診センター 事務長 池田 孝行



▲管理栄養士によるオンライン栄養相談

「浜松ウエルネス推進協議会」事業の一環として、市と浜松浜名湖ツーリズムビューロー、体験型多用途施設「KARen HaMaNaKo かんざんじ荘」と保健事業部の4者による

「ウエルネスワーケーション」を、今春のリリースに向けて構築をすすめています。

ウエルネスワーケーションとは、高速Wi-Fiが完備された施設で、快適なリモートワークを行いながら観光・レジャーを楽しむワーケーションに、保健師の健康チェックや管理栄養士監修の美味しく健康的な食事「スマートミール」の提供、健康運動指導士によるウォーキング体験など、参加される方々にあわせた健康増進プランを提供する、これまでにない新たなサービスです。今後は、主に健康経営を目指す企業様や、加入者の健康づくりを推進する健康保険組合様等に向け、ご案内を進めてまいります。

この事業は観光庁の「新たな旅のスタイル促進事業」に採択されるなど大きな注目を集めており、浜松の魅力を発信しながら「地域の産業も元気に!」していきます!



▲保健師による健康チェック



▲健康運動指導士によるストレッチ講座